

用紙がつまったときのご注意

次のような場合は、本体の電源スイッチを切ったうえで、弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- どこにつまっているのかわからない
- ローラーに用紙が巻き付いている
- つまった用紙を取り除こうとしたら破れて、機器の内部に紙片が残ってしまった
- 自分で取り除けない
- 繰り返し紙づまりが起きる

お問い合わせ窓口

ムラテック インフォメーションセンター

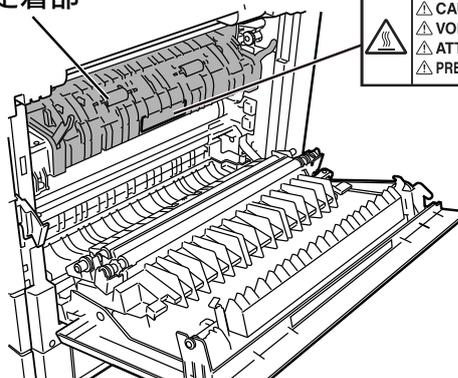
0120-610-917

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えにならないようお願いいたします。

⚠️ 注意

- 定着部に用紙が残った状態でご使用いただくと、用紙が焦げたり発煙したりする恐れがあります。
- 定着部は高温になっています。やけどをする恐れがあるので、「高温注意」をうながすラベルが貼られた箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないください。
- 用紙が定着部に巻き付いた場合や紙片が残った場合は、ただちに電源スイッチを切り、弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

定着部



❗️ お願い

用紙が破れた場合、機械内部に紙片が残っていないか確認してください。

📄 補足

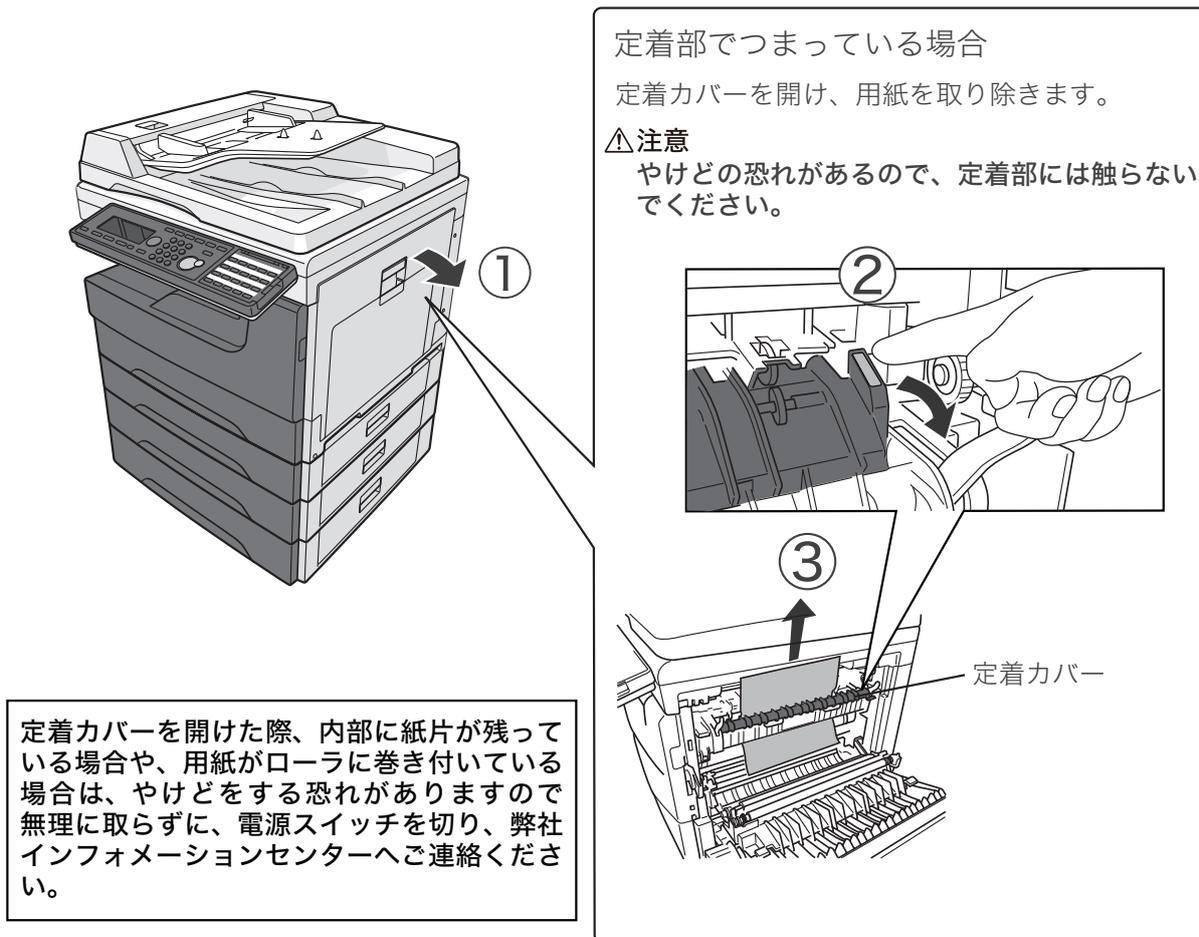
液晶ディスプレイに「残留用紙あり。点滅箇所のカバーを開けて確認してください」と表示された場合は、つまった用紙が完全に取り除かれていません。サイドカバーを開けたり、用紙カセットを引き出したりして、つまっている用紙を探し、完全に取り除いてください。つまった用紙を取り除いてもメッセージが消えない場合は、液晶ディスプレイに表示されたカバーを再度開け閉めしてください。この動作でメッセージが消えることがあります。

□ 安全に関する表示

安全にお使いいただくために守っていただきたい事項や操作する上での重要情報に、以下のマークをつけています。

	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性または物的損害が発生する恐れがある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。
	操作の参考情報や補足説明が書かれています。

□ 定着部につまった用紙は、下記の手順にしたがって取り除いてください。



本図は MFX-2355 に増設給紙ユニット（300 枚）を 3 段装着した状態のものです。

□ 使用できない用紙

以下に示す用紙は使用しないでください。紙づまりや用紙が焦げたり発煙したりする原因になります。

- テープ付き、合い紙の付いた OHP フィルム、一度使用した OHP フィルム（OHP フィルムは、普通紙複写機用を使用してください）
- ほかの熱転写プリンターやインクジェットプリンターでプリントした用紙
- 厚すぎる用紙や薄すぎる用紙
- 折り目、反り、しわ、破れのある用紙
- 加工した用紙（たとえば A4 用紙を半分に切って A5 サイズにしたなど）
- 開封後、長期経過した用紙
- 吸湿した用紙
- バインダー用の穴があいている用紙、ミシン目のある用紙
- 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面が一様でない用紙
- カーボン紙、ノーカーボン紙、感熱紙のような表面が加工された用紙
- 箔（はく）押し、エンボス等の加工が施されている用紙
- ささまざまなサイズが混ざった用紙
- 形が不規則な用紙（長方形ではない用紙）
- のり、ホチキス、クリップなどでとじられている用紙
- 切手、テープ、シール、のりラベルが貼ってある用紙
- リボンやフック、ボタン等の付いている用紙
- カール、波打ちをしている用紙
- アート紙、コート紙、インクジェット用コート紙